ACCURAY

2026 年 11 月 4 日

アキュレイシステムご使用のお客様各位

アキュレイ株式会社

PHP の脆弱性に関するアキュレイ製品のセキュリティ情報

平素よりアキュレイ製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。

アキュレイでは、PHP の重大な脆弱性（通称「php2shell」）に関し、ソフトウェア部品表（SBOM）および関連コンポーネントを含めた製品への影響評価を実施しております。

CyberKnife®、Radixact®、Precision®、iDMS の一部の内部コンポーネントおよび機能において PHP の使用が確認されていますが、外部公開されているコンポーネントや臨床ユーザーインターフェースでは使用されていません。現時点において、本脆弱性に対する外部からの曝露は確認されておらず、関連するサイバー攻撃やデータ侵害も報告されていません。

また、アキュレイでは外部公開されている Web 環境についても調査を実施しており、本脆弱性への対応は完了しています。現在までに、本脆弱性に起因するサイバー攻撃は確認されていません。外部ホスティングサービスについては、必要に応じてサービスプロバイダーと連携し、関連する脆弱性への対応状況を確認しています。

- https://www.accuray.com/ja/
- https://accurayexchange.com/
- https://cyberknife.com/
- https://radixact.com/
- https://cyberknife.jp

アキュレイは引き続き本脆弱性に関する情報を監視し、新たな情報により製品への影響評価に変更が生じた場合には、速やかに内容を更新いたします。

また、一般的なサイバーセキュリティ対策として、アキュレイシステムへのネットワークアクセスを必要最小限に抑えること、医療機器をインターネットへ直接公開しないこと、ならびに適切に設定されたファイアウォールおよびネットワークセグメンテーションを導入・運用いただくことを推奨します。

ご不明な点や追加情報が必要な場合は、担当のアキュレイスタッフもしくは下記メールアドレスまでお問い合わせください。

お問い合わせ窓口：ITHelpdeskJapan@accuray.com

以上

Classification://ACCURAY/CONFIDENTIAL—Proprietary Information/Limit External Distribution